

日中共同声明 (1972年9月29日署名)



外務省外交史料館 特別展示

日中国交正常化

五十年



上海空港での田中角栄総理送別式典(1972年9月30日)

令和4年9月22日(木)～令和4年12月27日(火)

会場：外務省外交史料館 別館展示室

開館時間：土日祝日を除く10時～17時30分

住所：東京都港区麻布台1-5-3 TEL：03-3585-4511(代表)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/index.html>

入場無料



アクセス地図
はこちらから
ご確認ください。



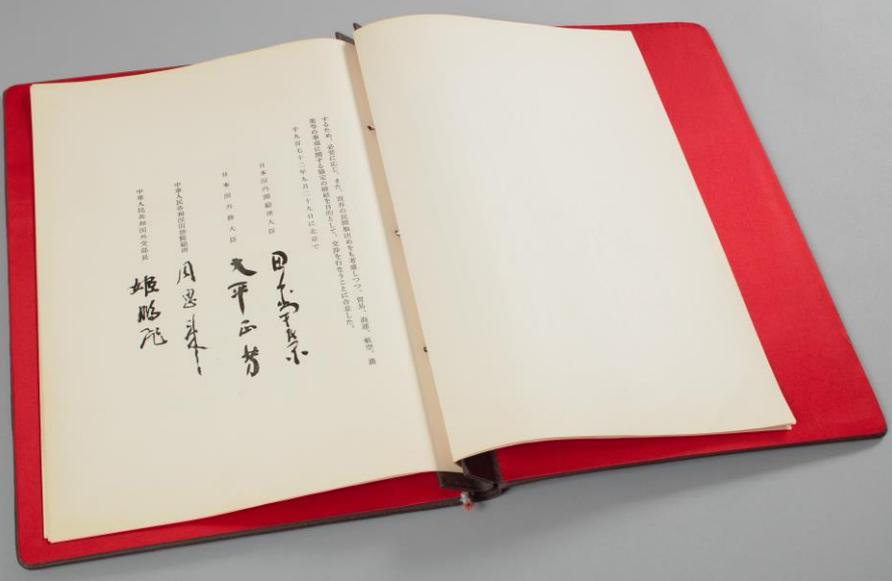
日中国交正常化 50 周年

*新型コロナウイルス感染症対策を実施しております。また、国内の感染状況等により展示日程を変更する可能性があります。ご来館前にHP等でご確認ください。

日中两国間には社会制度の相違があるにもかかわらず、両国は、平和友好関係を樹立すべきであり、また、樹立することが可能である。両国間の国交を正常化し、相互に善隣友好関係を発展させることは、両国国民の利益に合致するところであり、また、アジアにおける緊張緩和と世界の平和に貢献するものである。

(日中共同声明 前文より)

本年は、「日中共同声明」の発出により、日本と中国が国交正常化して50周年の節目の年にあたります。これを記念して、本展示では、「日中共同声明」や、その後に結ばれた「日中平和友好条約」などを関連史料とともにご紹介します。



日中共同声明

1972(昭和47)年9月29日

1972(昭和47)年9月25日、戦後の現職総理大臣として初めて田中角栄(たなか・かくえい)総理が北京を訪問し、大平正芳(おおひら・まさよし)外務大臣らと共に中華人民共和国の周恩来(しゅう・おんらい)國務院総理、姬鹏飞(き・ほうひ)外交部長らと国交正常化に関する協議を行いました。そして、数度に渡る首脳間の会談を経て、9月29日、人民大会堂において、日中共同声明が署名されました。

日中平和友好条約(署名本書)

1978(昭和53)年8月12日



日中共同声明において言及されていた平和友好条約は、1978(昭和53)年8月12日、北京において、日本側園田直(そのだ・すなお)外務大臣、中国側黄華(こう・か)外交部長により署名され、10月23日に発効しました。本条約締結により、両国間の平和友好関係を一層発展させるための基礎が築かれました。

鄧小平中国国务院副総理夫妻訪日記念アルバム

1978(昭和53)年10月25日



日中平和友好条約批准書交換に際し、鄧小平(とう・しょうへい)副総理が訪日しました。中国の国家指導者としては戦後初の訪日でした。鄧副総理は、日産自動車、松下電器等を見学し、新幹線にも乗車し、「今回の訪日で近代化とは何かがわかった」と述べたそうです。そして帰国して2ヶ月後に「改革開放」が始まりました。写真は総理大臣官邸において、福田赳夫(ふくだ・たけお)総理と会談を行った際に撮影されたものです。